令和５年６月２２日
13：30～15：15

令和５年度　第１回学校協議会　議事録

1．自己紹介

岸野　 浩仁 様（本協議会委員長)、鉄本 佳代子 様（第二新緑自治会長）
佐々木 信子 様（スポーツ推進委員)、石部　 巧 様（鳥飼東公民館館長）
堤　 あけみ 様（主任児童委員)、 中嶋校長 、 大槻教頭　 計７名出席

２．児童の様子

・全学年の授業の様子を５分間程度ずつ参観。

＜主な学校行事の紹介＞
・春 の 遠 足…5/１０（淀川河川敷公園にて、きょうだい学年 及び 鳥飼小の同学年児童と交流。）
・宿 題 広 場…５/１７～（学習室）→３～６年生の参加希望児童（現在 23 名登録）
・運　動　会…6/３で実施。
・田　植　え…6/７→５年生で実施。
・プール開き…6/１２～ペア学年（1・6、２・4、３・５年生）で実施。
・林 間 学 校…５年生→6/26～6/27（滋賀県高島市：もくもくの里）に実施予定。
・芸 術 鑑 賞…６/２９（本校の体育館にて、鳥飼小４・６年生の児童を招待）に実施予定。

３．今年度の学校経営計画

・校長より学校経営計画について説明。基本的には昨年度のマイナーチェンジ。
・重点取組みとして、①人権学習　②算数及び理科の学習の充実　③食育の取組み　を推進。

４．質疑・応答

・授業を参観して、令和４年度に比べ、学校全体が落ち着いている印象がある。特に、一年生の指導がしっかりとしている印象を受けた。

・今年度の通常の学級と支援学級児童の連携はどのようになっているか。
→国語・算数以外の教科でも支援学級で指導する時間を確保し、体制を整えて指導にあたっている。学級担任と支援学級の担任が一週間毎の授業案を共有し、連携して取り組んでいる。

・子どもたちの学力をどのように捉えているか。
→令和４年度は初めて全国学力・学習状況調査で国語が全国平均を上回った。国語科を中心に研究を進めてきた成果であると捉えている。しかしながら、算数や理科には課題が残る結果であった。

・学校アンケートの結果から、子どもたちの「授業がわかりやすく楽しい」の割合が令和３年度よりも令和４年度の数値が下がっている。今年度は、どのようにして向上させていく考えか。

→子どもたちの実態から、今年度より子どもたちが主体性に授業へ臨むことができる態度を育てるために、『「たい」があふれる授業をめざして』～心を揺さぶる導入～、を研究テーマとして、国語科に特化せず、すべての教科で授業の導入を大切にした授業づくりを進めている。子どもたちの「やってみたい」「考えてみたい」「友達に伝えたい」と思う魅力ある導入を行い、学力向上はもちろん、子どもの主体性を高めていきたい。

・タブレットを活用した授業を参観したが、子どもが漢字を自ら変換する、文章をつくるなど、コロナ禍前に比べ、授業の質が高くなったような気がしている。

→日々の授業の質を高めることで子どもたちの主体性や個性が発揮される。教師主導ではなく、子どもが主体となる授業づくりをめざす。新型コロナウイルス感染症の制限が解除され、できるようになった活動が増えたので充実させてきたい。

・二学期の学校行事は、どのようなことを予定しているか。

→10 月 29 日（日）に校内音楽会を実施する予定である。コロナ禍では、実施ができなかったが、今年度より復活させている。また、校外学習や鳥飼小との合同芸術鑑賞など、子どもたちが夢中になる行事を予定している。

・算数は積み重ねが大事であると考える。学校経営計画に示されているように取組みを推進して欲しい。

・学級づくりは教師の影響力が大きい。子どもたちが意欲的に活動できる機会を多く設けて欲しい。

・４０周年記念はどのようなことをするのか。

→ＰＴＡ本部役員の方々と協議の上、費用面や３年後に控えた統廃合などのことを踏まえ、全体の集合写真を撮る形にした。ＰＴＡが刊行している新聞「くすのき」に、その写真を掲載する予定である。

５．その他

・第２回学校協議会の予定

→今年度は日程調整の上、11 月中旬に開催する予定。